

ART
FESTIVALS

ごんたんおもてん
ごんたん
できてん

令和6年度
木の実幼稚園
造形展

2025.2.14-15



木の実のプロジェクト型保育について

ご承知の通り、本園ではイタリアのレッジオ・エミリア市の幼児教育理念に共鳴し、「プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）」という名前で実践されている教育を、現在 3 歳以上の全てのクラスで行っております。

プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）は、1）何より子供が中心となって教師とどんなことも話し合い保育を進めていくこと。2）子供の興味、関心に基づいたトピックに基づいて、様々な遊びと活動を関連づけたカリキュラムを作る事がその大きな特徴で、遊びや活動の経験内容とそのつながりを重視するカリキュラムです。

活動や遊びを一方向的にさせるだけのカリキュラムではなく、子供たちが示す興味や疑問、問いかけを「トピック」（話題）にして、教師がそれらをまとめて「テーマ」を設け、そこから色々な活動が子どもとの話し合いの中で展開されていく、「探求型のカリキュラム」とも言えます。

そのトピックやテーマ、活動が展開されていく流れをまとめたものが、この冊子の各クラスの内容紹介の末尾に付けられている「トピック・ウェブ」＝「話題の繋がり」～気づき、関心、話題の広がりや繋がりを網の目のように図示したものです。

今回の造形展でも、このプロジェクト型保育の中で子供と保育者が一緒に考え、様々なものを活用して色や形で遊び、表現する「活動・探求の過程」を年間通して展示しております。

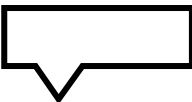
～「トピック・ウェブ」の見方～

☆プロジェクト型保育では、子供たちが日々の遊びや生活の中で気づいたり、驚いたり、関心を持ったことが**保育のきっかけ（破線で表示）**になります。このきっかけがその後の保育が展開される大切なきっかけになります。やがて、その中から色々な話題や活動をまとめる「**テーマ**」が生まれてきます。

トピック・ウェブでは、**遊びのきっかけ＝興味・関心・気づき**が  と図示され、

そこから生まれた**テーマ**が  と図示されています。

さらに、これらから広がった**トピック（話題）**が  と図示されます。

そして、この**話題から生まれた造形遊びや活動**が  と図示されています。

私たちの思い ～プロセス・子どもの経験を大切にしたい～

木の実幼稚園の造形展では、この **1 年の子供の気づきや興味や関心の変化、保育者や友達と話し合い、語り合っ**て生まれた様々な遊びの広がりの中で、**造形活動がどのようにして生まれてきたかを見ていただく内容**になっています。

その為、1、2 学期の作品は、一つの活動のテーマごとに全員の作品が展示されているわけではありません。テーマごとに何点かの作品が選ばれて展示され、また作品として残っていない粘土や立体作品は写真やドキュメンテーションとして展示する場合があります。(当然作品の点数は不公平の無いように、担任が慎重に選択します。)

展示の何割かは3学期の作品になりますが、これも全ての子供が同じ画材、同じテーマで活動した作品がある場合だけではなく、クラスによってはクラスの中で子供たちがしてみたい活動やテーマ、画材、材料を選び、いろいろな表現や作品が、活動のグループごとに展示されていることもあります。また、クラス通信でお知らせしたものと異なるものが、子どもたちの中で広がり、この1月から2月になって新たに取り組んだ活動もあります。

私たちは何より個々の作品の出来不出来を大人目線で見るとは無く、その子、その子の思い〔夢、空想、興味、驚きや発見・・・〕と表現の面白さ、多様性、幼児らしい発想と工夫をその色や形、お話から感じて、共に喜んでいただきたいと願っています。

そして自分の子供の作品だけ見て帰るというのではなく、クラス全体がどのように動いてきたのか、どんな遊びや経験、生活をしてきたのか、各担任がどんな思いや願いをもって保育を進めてきたのかを、作品に付された子どものお話の記録、またドキュメンテーション(保育の記録)もよく読んで、保育のプロセス・過程を大切に感じていただきたいと思っています。

子ども達が生み出したもの・作品を見る時は……

- 1、 **自分の子どもの作品だけではなく、興味をもった作品や遊びは、じっくりと見て、感じ、いろいろと考えてみてください。「早見・飛ばし見」では、何も心に届きません。**
- 2、 **色づくりや面白い形を作って遊んだ作品は、「造形遊び」と言います。何を表しているかよりも、その色や形の良さをよく見て、感じて、楽しんでください。**
- 3、 **それらしい形が描けているものだけが良いではありません。それらしい形でなくても、その子、その子の工夫や思い、お話があります。それをしっかり受け止めましょう。**
- 4、 **他の子どもと比較するのではなく、その子、その子が以前と比べてどう変化したのか、その育ちをよく見てあげてください。「比較」よりも、「あるがまま」を受け止めましょう。**
- 5、 **「上手・下手」だけで判断しない。その子の工夫を理解・共感して、お話をよく聞いてあげましょう。そして一緒に面白がれば、みんなが幸せです。**

こんな姿勢で、ゆっくり、じっくりと子供たちの表現の世界を楽しんでいただければ幸いです。

The site plan for Kono Jitsugakko (Wood's Real Kindergarten) includes the following features:

- 園バス駐車場 (Kindergarten Bus Parking Lot):** Located at the top left.
- 自転車置き場 (Bicycle Parking Area):** Located below the bus parking lot.
- ログハウス (Log House):** Located to the right of the bus parking lot.
- 体育倉庫 (Physical Education Warehouse):** Located to the right of the log house.
- 園庭 (Courtyard):** Two large open areas, one between the bus parking lot and the log house, and another between the log house and the physical education warehouse.
- 砂場 (Sand Pit):** Located to the right of the physical education warehouse.
- 固定遊具 (Fixed Play Equipment):** Located to the right of the sand pit.
- トイレ (Toilet):** Located near the entrance at the bottom right.
- 正門 (Main Gate):** Located at the bottom center.
- 事務所 (Office):** Located to the right of the main gate.
- 月 (年中) (Month/Middle Year):** Located to the left of the office.
- 預かり保育 (Pre-nursery):** Located below the month/middle year section.
- どんぐり組保育室 (Acorn Group Nursery Room):** Located below the pre-nursery section.
- みなるホール (Minaru Hall):** Located on the left side of the plan.
- 実践発表会場 (Practical Presentation Venue):** Located below the Minaru Hall.
- 来賓控室 (Guest Waiting Room):** Located below the practical presentation venue.
- おもちやと絵本のライブラリー (Mochi and Picture Book Library):** Located below the guest waiting room.
- みかん組 (Mikan Group):** Located below the library.
- りんご組 (Apple Group):** Located below the mikan group.
- ナースリークラス (未就園児) (Nurse Class (Non-Enrolled Children)):** Located below the apple group.
- 1F (1st Floor):** Indicated for the library, nurse class, and month/middle year sections.
- 2F (2nd Floor):** Indicated for the hall, practical presentation venue, guest waiting room, and pre-nursery sections.

	鳩 (年中)	花 (年中)	ひよこ (年少)	トイレ★	トイレ
				コアラ (年少)	アヒル (年少)
	星 (年中)	雪 (年中)	パンダ (年少)		
	※ウッドデッキは土足厳禁です。			竹 (年長)	うさぎ (年少)
				1 F	2 F
2 F	椿 (年長)		梅 (年長)	トイレ	桜 (年長)
1 F	給室食	トイレ★	光 (年長)	トイレ	松 (年長)

みかん・りんご組 の お部屋

担任：宇治田 沙季 / 坂本 真里 / 十川 天音



活動の展開と造形遊び

様々な感触遊び

5月

「泡、スライム遊び」

7月

「片栗粉、スライム遊び」

11月

「泡スライム作り」

12月

「ライトテーブルで片栗粉遊び」

色遊び

6月

「色水作り」

7月

「水遊びの中で、ジュース作り」

9月

「切った紙で色水作り」

9月

「色水霧吹き」

日々の生活の中で 生まれる色・形の 造形遊び

5月/「初めてのクレヨン遊び」 クリアファイルに描いて遊びました。

5月/「シール遊び」

5月/「初めての絵の具遊び」・ 7月/「絵の具遊び」大きい紙や、広い所に描いて遊びました。

11月/「クレヨンを砕いて遊びました」・ 11月/「作ったクレヨンで描きました」

1月/「重曹絵の具遊び」

1月/「自然物探し」→1月「転がる物探し」

→1月「転がして遊ぼう」自分が見つけた転がる物に、絵の具を付けて転がして遊びました。

1月/「マーカーで描こう」それぞれのクラスで、お話からテーマをもって描きました。

初めて大好きなおうちの人と離れて生活する幼稚園。初めは、寂しさから涙する子もいましたが、様々なもの、人との出会いの中でお家以外にも先生や友達など大好きなものが増えていった子ども達。入会当初、自分がやりたい遊びに夢中だった姿から、友達への大好きな気持ちが高まるにつれ、遊びを真似してみたり、「一緒にやろう〜！」と誘い合ったりする声もたくさん聞こえてくるようになりました。

また、活動の中では初めて触れるもの、初めて見るものに、目をキラキラと輝かせ「やってみたい!」という思いに溢れた姿もあり、遊んでいく中で、自分たちで面白さに気づき、こうしたらどうなるかな?と試行錯誤しながら遊びを楽しむ姿もありました。

今回の造形展では、そんな色々な子ども達の姿や想いを想像しながら、たくさんの作品をご覧になって頂ければと思います。また、同じテーマの活動でも、みかん組とりんご組とでは、遊び方や作品の雰囲気が少しずつ違っている部分もぜひお楽しみ下さい。

どんぐり組 の お部屋

どんぐり組ってどんなところ？

早朝8時から10時まで、そして通常保育が終わってから、年少・年中・年長の3学年が1つの部屋で保育を行う預かり保育の事です。

「おはよう」から始まる早朝保育。眠い目をこすりながら登園する子どもたちが、遊びを通して徐々に体や頭を起こすところから始まります。人数は全学年合わせて約10～15人程。ソファに座って友達や先生と一緒に絵本を読んだり、机に向かってじっくり色塗りを楽しんだり…。そんなゆったりとした時間が流れています。

そして午後の預かり保育は、日中クラスでの取り組みを終えた子どもたちを「おかえり」と迎えるところから、預かり保育がスタートします。人数は全学年合わせて約20～40人程。クラスでの取り組みをもっとじっくり深めたい年長児。違うクラスの友達と遊べる事を楽しみにしている年中児。ちょっぴり寂しくて先生と一緒に遊ぶ年少児など様々な姿が見られます。どんぐり組の良さは、異年齢で過ごす事にあると思います。歳下を思いやる心、年上に憧れを持つ心が育つ場所であってほしいと願いながら、日々保育をしています。

小さな会話から生まれた遊び

今回の造形展では、異年齢での関わりや小さな会話に注目し、ドキュメンテーションという形で展示しています。どんな姿から、どんな作品が生まれたか、少しだけご紹介します。

～早朝保育での出来事。年長児と一緒に絵本『キャベジ動物図鑑』を読んでいた。いろんな野菜や果物が動物になって登場するお話が面白く、どこに住んでいるのかをじっくり見ている姿がありました。すると、最後のページに「皆さんは、どんな動物が住んでいると思いますか？」という一文が。「こんなのもいるんじゃない?!」「野菜はこれで…。」と、話し始め、絵で表現して遊び始めました。翌日、様々な野菜や果物の写真を用意し、置いておくと早速生き物を作り始める姿がありました。そんな年長児の姿を見て、同じように遊び始める年中児・年少児。「なんかかわいいな。」「違う国の生き物も作ってみた。」「遊びがどんどん膨らんでいきました…。～

この時の作品を本にしたいということでファイリングしています。

どんぐり組では、このような“小さな会話”に注目してみました。同じ学年同士、あるいは異年齢でどんな会話が繰り広げられているか、どんな面白い遊びがうまれたのか。

是非、足を運んでみてください。